

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2019-37686 (P2019-37686A)

【公開日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-010

【出願番号】特願 2017-163947 (P2017-163947)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/02 (2006.01)

A 6 1 B 5/0402 (2006.01)

A 6 1 B 5/022 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 E

A 6 1 B 5/04 3 1 0 M

A 6 1 B 5/02 6 3 0 A

A 6 1 B 5/02 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 27 日 (2019.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検者のある測定部位を圧迫する血圧測定用のカフと、  
前記被検者の血流のある生体組織に光を照射して透過光又は反射光の光情報を検出する  
プローブと、

前記被検者の心音を電気信号に変換するマイクロフォンを備えたチェストピースと、

前記被検者の皮膚に接触して身体電位を検出する複数の電極と、

装置本体と、を備え、

前記装置本体は、

前記カフ内のカフ圧を加圧及び減圧することによって前記被検者の血圧を測定し、

前記プローブが検出した光情報に基づいて前記被検者の血中酸素飽和度及び脈拍の少  
なくともいずれか一方を測定し、

前記複数の電極が検出した身体電位に基づいて前記被検者の心電図を測定するもので  
 あり、

前記複数の電極の少なくとも一つは、前記カフに設けられ、

前記複数の電極の少なくとも一つは、前記プローブ内の前記被検者の皮膚に接触する部  
分に設けられ、

前記複数の電極の少なくとも一つは、前記チェストピースの前記被検者の皮膚に接触す  
る部分に設けられており、

前記プローブと前記チェストピースは着脱自在に組み合わされている

バイタルサイン測定装置。

【請求項 2】

体温計をさらに含む

請求項 1 に記載のバイタルサイン測定装置。

【請求項 3】

前記装置本体は、前記心電図から前記被検者の心臓の収縮期及び拡張期の両方又はいずれか一方の時間帯を抽出するとともに、前記マイクロフォンによって取得した心音信号から前記抽出した時間帯において心音中に心雑音が存在するかどうかを判定する

請求項 1 に記載のバイタルサイン測定装置。

【請求項 4】

前記装置本体は、前記心電図から前記被検者の心臓の収縮期及び拡張期の時間帯を区別するとともに、前記収縮期及び前記拡張期における被検者の血圧の差を求める

請求項 3 に記載のバイタルサイン測定装置。